

関係者各位

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、私ども特定非営利活動法人えがおに対し、ご指導・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年1月11日に法人が認証されてから約1年が経過し、早いもので、来る4月より3期目を迎えようとしております。

設立記念講演会・医療講演会、慶應義塾大学商学部教授権丈善一氏による「クオリティ・オブ・ライフ」講演会、クラウドファンディングの実施、患者会の開催など、初年度より意欲的に、患者様およびご家族のご支援の輪の広がりに対して取り組んでまいりました。疾患の周知という側面では、一定の効果があつたのではと感じております。本件については、いろいろなメディア関係者のご尽力があつたということも付記させていただきます。しかしながら、至らない点が多々あつたかとも思いますので、是非、温かい目で見守っていただければ幸いです。

会員様、スポンサー企業様に加えて行政関係者や議員の先生方のご支援で、何とか最初の2つの期を乗り越えようとしており、大いなる感謝の意を表したいと思っております。

昨年2月には富山県議会厚生環境委員会にて、県議会の場で初めて「線維筋痛症と慢性疲労症候群」に関する支援の要請について議論がなされ、小さくともスタートラインに立てたことは大きな意義があつたかと存じます。

引き続き、関係者の皆様との連携を継続し、確立していきたいと考えております。

初年度を振り返り、「今、我々‘えがお’が出来ること」を深く考え、追究し、実行に移していきたいと思っておりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しく願ひいたします。

本年は、患者会の充実を中心に「量から質へ」と活動の方向性も転換したいと思っております。目まぐるしく変化する社会への対応も鑑み、患者様およびご家族への必要なご支援について、きちんとご意見を汲み取らせていただき、当法人の方向性に対して反映させていただきたいと思っております。

まだまだ出来たての法人ではございますが、スタッフ一同、全力で取り組んでまいりたいと存じますので、どうぞご理解のほど、よろしく願ひいたします。

末筆ではございますが、会員様、患者様、ご家族様、地域の皆様、私ども特定非営利活動法人えがおを支えてくださる全ての皆様のご多幸とご健勝とを祈念し、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

2019年元旦
特定非営利活動法人えがお
理事長 鳥井 謙祐